

萬國小地理書

高城與五郎編

卷一

特31

528

022215-000-5

特31-528

万国小地理書 卷之1

高城 与五郎/編

M20

ADA-0657



特31
528

№4105

高城與五郎編

萬國小地理書

版權
所有

翠嵐書屋藏版

凡例

一此書ハ本邦地理ニ次ギテ學習スベキモノニシテ世界地理ノ總論及萬國地理ノ大要ヲ記載シタルモノナリ

一萬國地理編纂ノ體裁ハ余ガ曩ニ編述セル日本小地理書ニ倣フト雖其記載スベキ事項彼此異同ナキラ得ズ故ニ題目ノ如キモ各大洲一樣ナラス學者之ヲ諒セヨ

一尺度ハ盡ク本邦ノ制ヲ用フ故ニ尺ハ通常ノ曲尺ニシテ里法ハ三十六町ヲ一里トス各國幅員

No. 7195

凡例

一此書ハ本邦地理ニ次ギテ學習スベキモノニシ
テ世界地理ノ總論及萬國地理ノ大要ヲ記載シ
タルモノナリ

一萬國地理編纂ノ體裁ハ余ガ曩ニ編述セル日本
小地理書ニ倣フト雖其記載スベキ事項彼此異
同ナキヲ得ズ故ニ題目ノ如キモ各大洲一樣ナ
ラズ學者之ヲ諒セヨ

一尺度ハ盡ク本邦ノ制ヲ用フ故ニ尺ハ通常ノ曲
尺ニシテ里法ハ三十六町ヲ一里トス各國幅員

萬國地理編纂凡例

一 尺貫書ニ依ル

ノ如キモ亦之ニ據リテ改算ス

一 國名及地名等ハ總ベテ片假名ヲ以テ之ヲ記ス
其最著名ニシテ且通常漢字ヲ慣用セルモノニ
限リ漢字ヲ用ヒ之ニ傍訓ヲ附ス

一 各大洲ノ地圖ハ此書ノ附圖トシテ別ニ編製セ
リ此書ヲ授クルノ際宜シク對照シテ地理ノ觀
念ヲ確實ナラシムベシ

一 經度ハ綠林ヲ以テ本位子午線ト定メ計算ス
一 日本地誌ハ既ニ日本小地理書ニ詳ナルヲ以テ
茲ニ記セズ

編者識

萬國小地理書卷之一

高城與五郎編

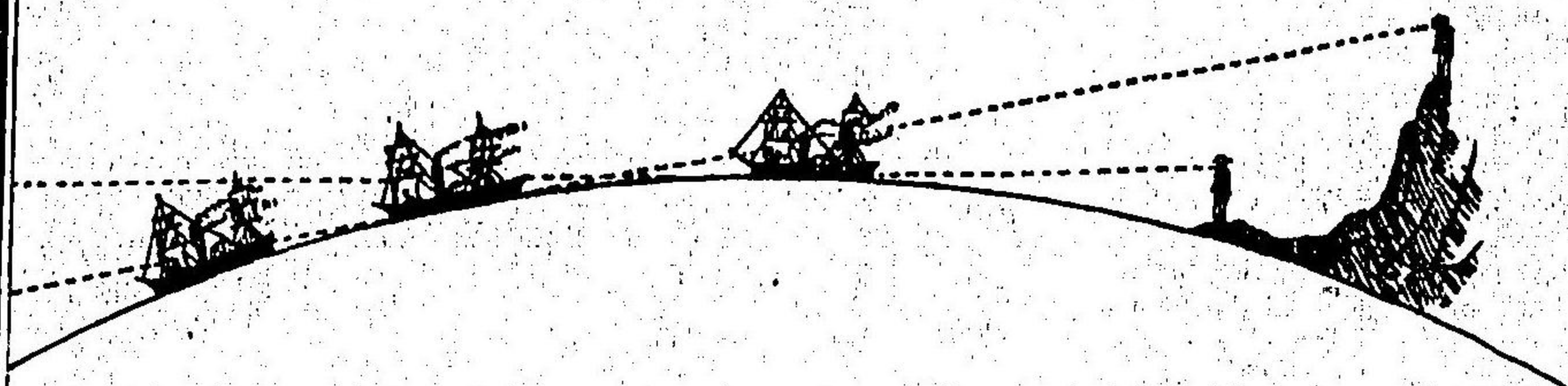
地理總論

地球

地球形狀

地球の形ハ圓くして球の如くと雖極めて
廣大なるよ由り吾人を常に其の圓形たる
を見ること能む。今地球の圓き證を擧げ
んに、海を航する者ありて、西又ハ東よ向ひ
船を進めて更よ其の方向を變せざれば、終
よハ始解纜せし港よ還ることを得。又海岸

地球の圓き證據之圖



に立ちて、出帆せる船を望むに、其の次第に遠ざかるに隨ひて、船身を水面に没して、唯帆檣を見るべし、益々遠ざるれば、帆檣も亦水面に隠れて、見るべからず、此の時丘陵或ハ高塔に登りて望めば、尚復之を見ることを

二 大陸大別

得るなり。又船中ニ在りて、遙ニ陸地を望むに、始先山巔を見漸く近づくと隨ひて山腹を見、次ニ山麓を見るなり、是其の水面彎形なるが爲なり。以上の數例より考ふまじ、地球の圓きことハ明ニ知り得べし。地球の周圍ハ凡、壹萬零百九十三里にして、其の直經ハ凡、三千貳百四十貳里なり。地球の面積ハ、凡、三千三百貳萬八千方里あり、其の内八百七十三萬四千方里を陸にして、貳千四百貳十九萬方里ハ水なり、即地面

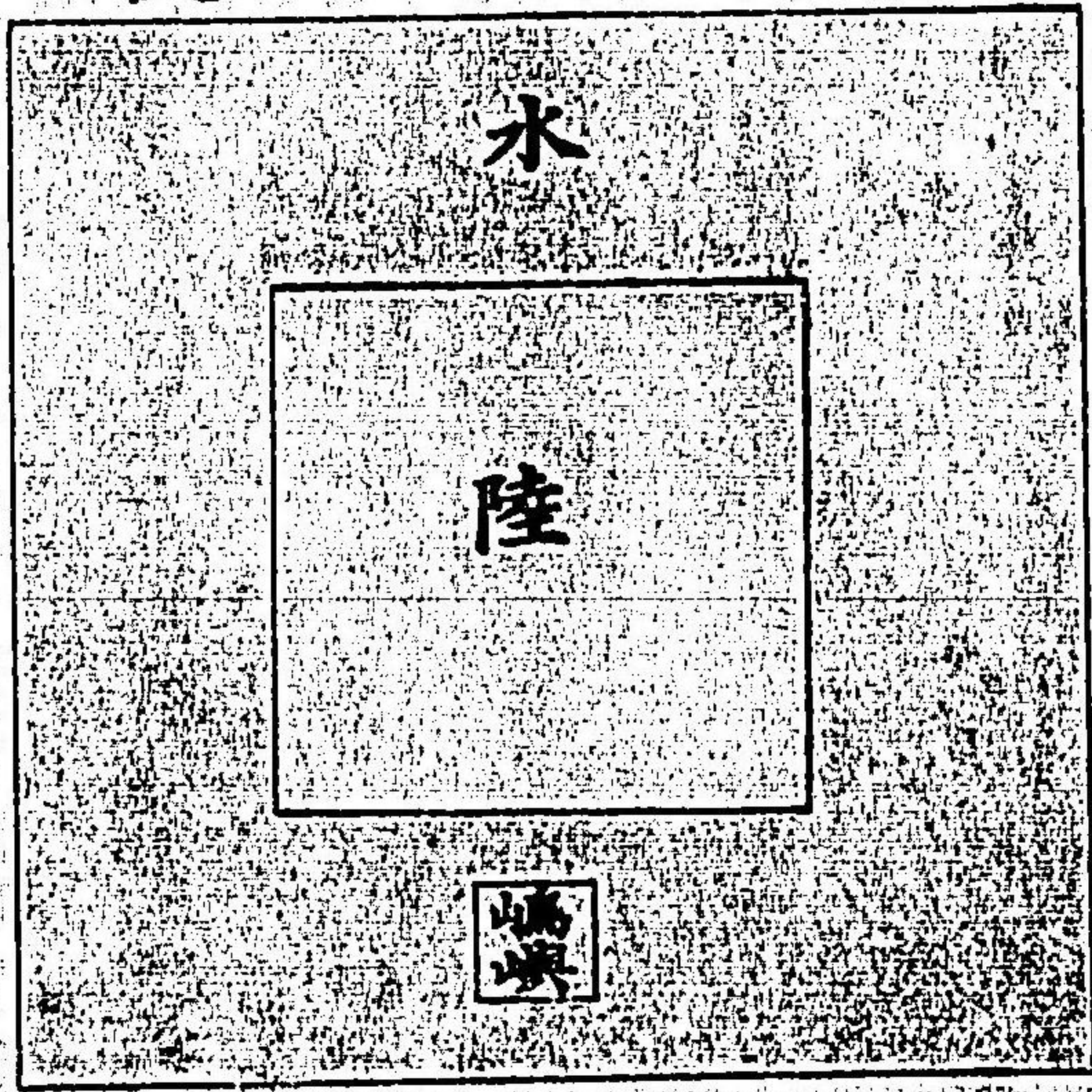
の四分の一を陸よ
して、其の四分の三
を水なり。

陸

(一) 三大陸

大陸は、東西兩半球
よ集りて、二群をな
せり、東大陸及西大
陸是なり。東大陸を

水大陸小ノ比較



東半球よ在りて、舊世界と稱し、西大陸を西
半球よ在りて、新世界と稱し、東大陸を甚大
よして、殆ど西大陸よ倍せり。此の二大陸よ東

(二) 島嶼

半球よ在る南大陸を加へて、三大陸と稱し
三大陸の中、東大陸よを、亞細亞、亞非利加、歐
羅巴の三洲あり。西大陸よを南北亞米利加
の二洲あり。南大陸と稱せるものを即ち豪斯
多拉利亞是あり。
大陸の外、小島嶼あり。其の最大なるものを、
ボルネオ、パプア、マダガスカル、スマトラ、日
本等と云ふ。

島嶼ハ其位置ニ由リテ洲島洋島ノ二種
ニ分ツ洲島ハ本洲ニ附從シテ地勢大陸
ノ山脈ト關係アルモノヲ云ヒ洋島ハ遠
ク大陸ヲ離レテ洋中ニ孤立シ或ハ群ヲ

ナスモノヲ云フ又群島トハ其洲島洋島ノ何レニ關セズ島嶼ノ群リ集レルモノヲ云フ

(三) 大洲ノ大小

三大陸及島嶼を別ちて六大洲と云。即ち亞細亞洲、亞非利加洲、歐羅巴洲、北亞米利加洲、南亞米利加洲、阿西亞尼亞洲是なり。大洲の大を比較せれば、亞細亞を最大として、亞非利加、北亞米利加、南亞米利加、阿西亞、歐羅巴、順次之に次ぐ。而して歐羅巴と阿西亞、尼亞とは殆同ト大にして最小なり。其他の大洲を歐羅巴に比ぶれば、南亞米利

口水

加を二倍、北亞米利加を二倍半、亞非利加を三倍餘、亞細亞を四倍半の大あり。地球表面の水ハ悉相連なると雖、大洲よりりて五部に大別し、之を五大洋と云ふ。五大洋を大平洋、大西洋、印度洋、北氷洋、南氷洋是なり。此の中大平洋を最大なるものとして、南北氷洋を他の大洋に比ぶれば、稍小なりと云。

三 經緯線

地理學上にて、各地の位置及距離の遠近を指示するに、便からるを爲し、假し地

萬國地理書卷之六 七 亞細亞書庫附版

一 經線

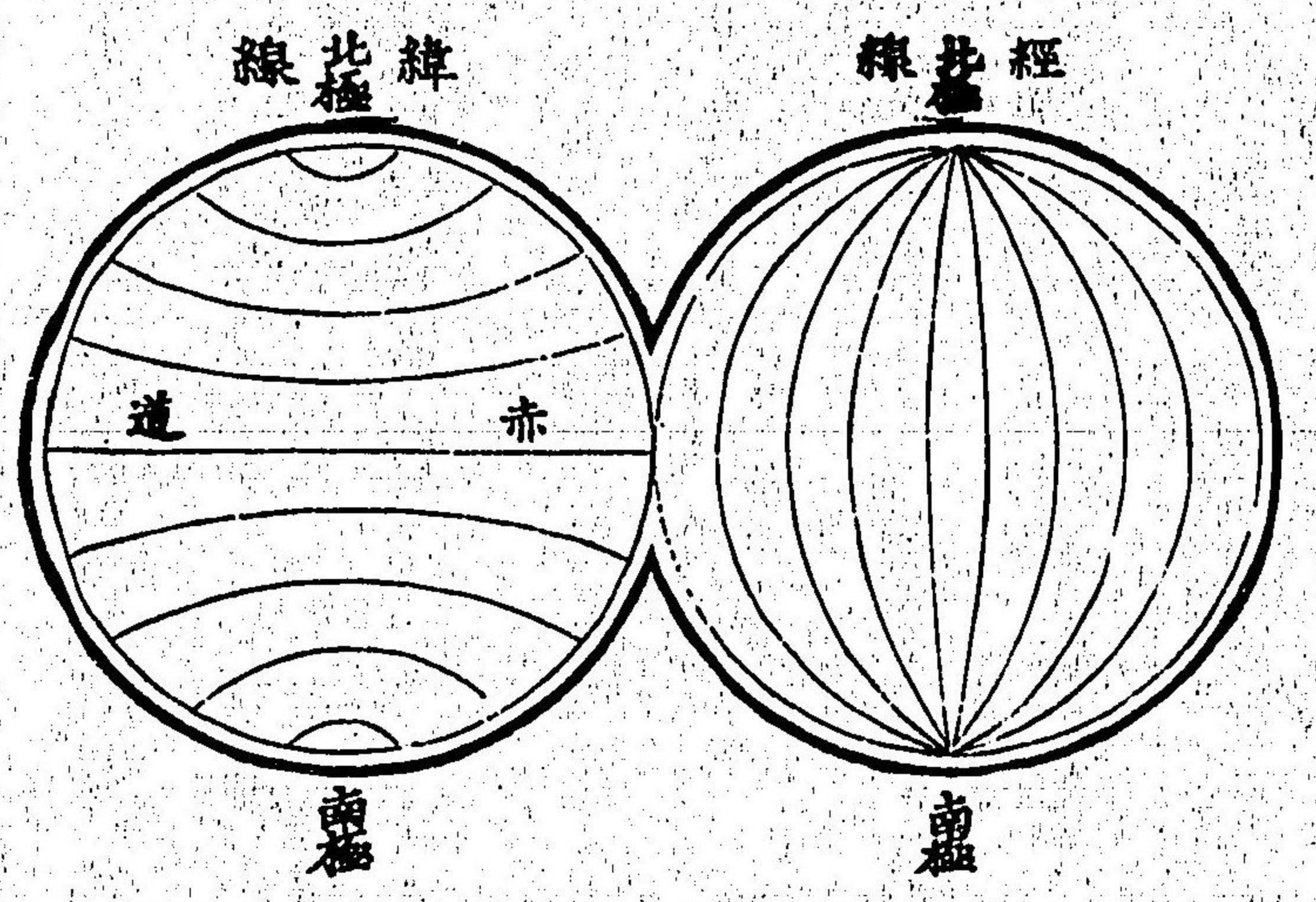
球の表面より多くの虚線を縦横に畫けり。地球の表面より畫きたる若干の縦線を其の最北最南の兩點より於て集合し各一周して大圈をなせ之を經線と云ふ。經線を地球上の一處より東西の距離を度る爲に設くるものなり。

又地球の表面より畫きたる若干の横線は各並行して圈をなせ之を緯線と云ふ。緯線は赤道より南北の距離を度る爲に設くるものなり。

二 緯線

ハ北極南極及赤道

經線の集合せる處の點即地球表面の最北の一點を北極と云ひ其の最南の一點を南極と云ふ。又南極及北極より同距離の處より東西に地球を一周せる圈線を赤道と云ふ。



二經緯線
計法

緯線を計るよ、赤道より兩極よ向ひて數ふるなり、即ち北極よ向ふとき、北緯幾度と云ひ、南極に向ふとき、南緯幾度と云ふ、南緯北緯共よ九十度よ至る。又經線を計るよ、一地方を經過せる經線を以て基となし、之より東經何度、西經何度と數ふるなり。故よ東西二經線を其の基定りなきを以て、國々よよりて異れり。我國よてハ東京を基として數ふまじども、通常英國綠林の司天臺我本位として數ふるなり。經線ハ東經、西經共

四地球運動

に百八十度よ至る。

吾人の住居せる地球ハ止りて動らざるが如く、又太陽を日々東より出で、西よ没し、恰我地球の周圍を旋れるが如くなれども、其の實を否らば、是地球を一處よ静止せることなく、常よ西より東よ回轉せるに因るのみよ、太陽の昇降せるに因らば、地球を其の中心を貫きて、南北兩極よ達せる所の地軸を心として、西より東よ向ひて運轉し、凡そ二十四時間毎よ一回轉せ、之を地

一自轉

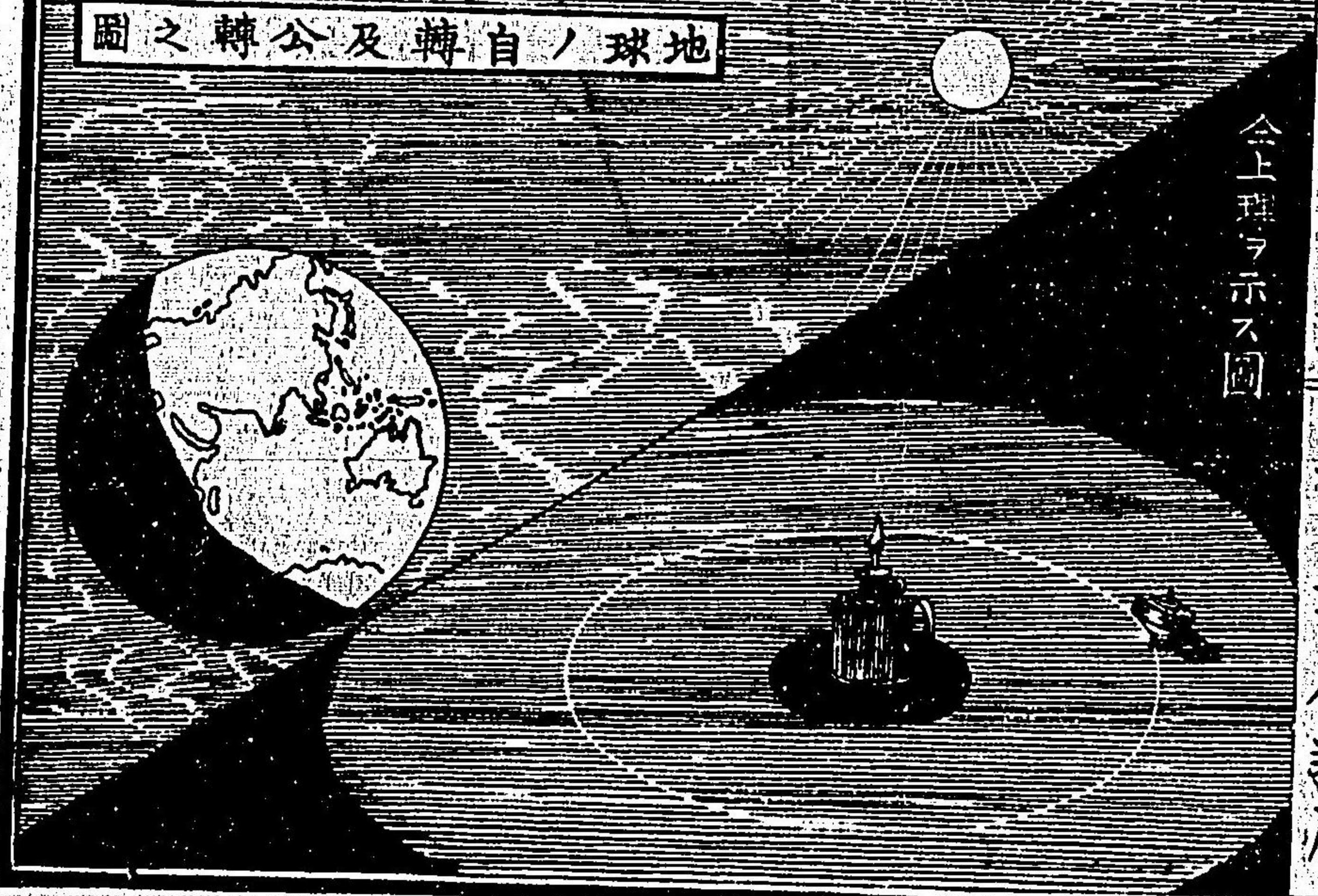
運轉し、凡そ二十四時間毎よ一回轉せ、之を地

球の自轉と云ひ
其の回轉の間を
一日と云ふ。

只公轉

地球を自轉の外
よ、又太陽の周圍
を旋り凡三百六
十五日餘よして
一周せ之を地球
の公轉と云ひ其
の一周の間を一

地球ノ自轉及公轉之圖

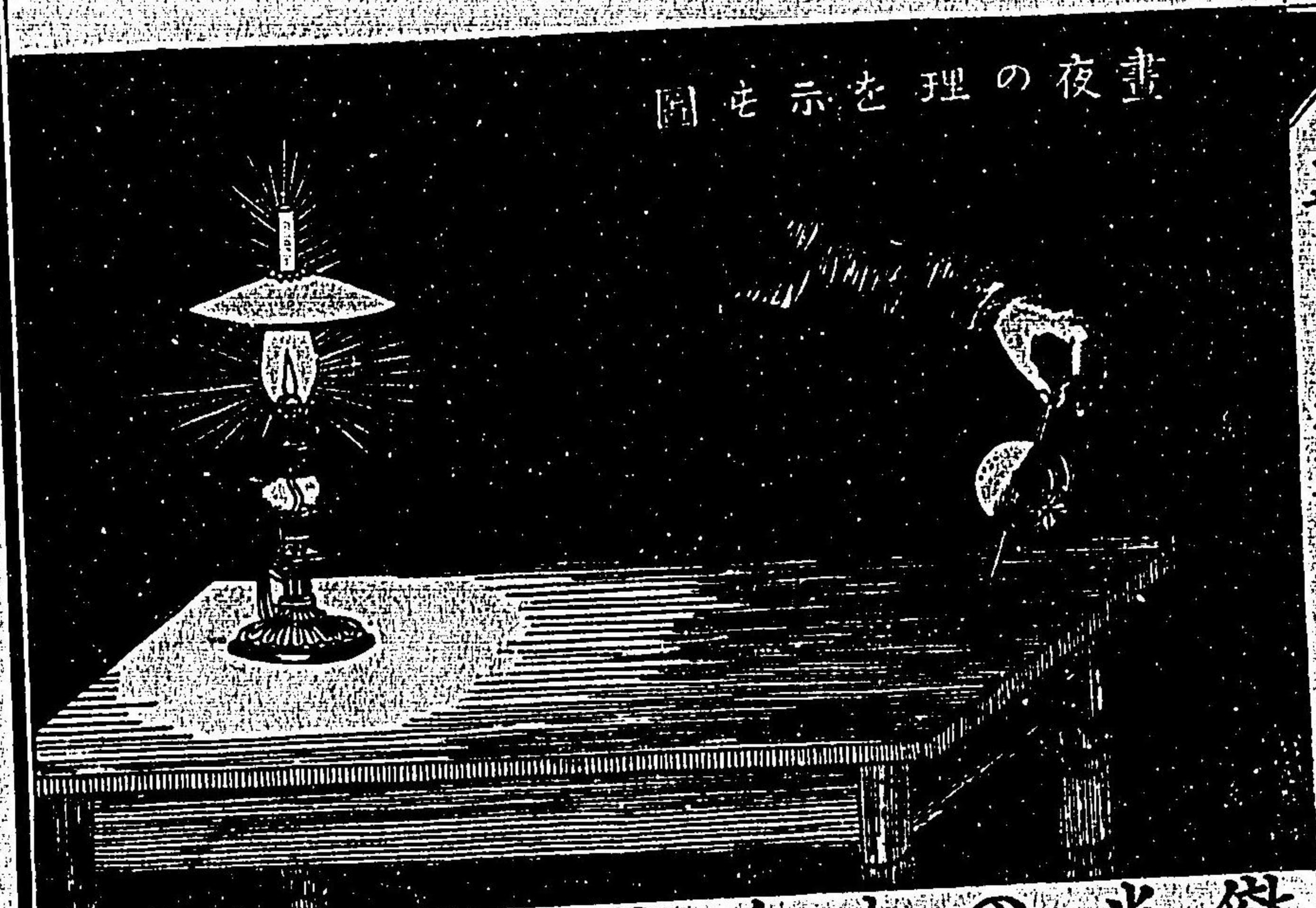


年と稱せ。

五、晝夜

地球ハ地軸を心として自轉をなす又公轉
をなす。其の状を恰獨樂の軸よ由りて回
つ二物の周圍を旋りて環を爲すが如し。
地球ハ自轉よ由りて晝夜を生ず。其の理を
例之は夜中燭火よ向ひて、梨子又ハ橙子を
照せを、其の半面を火光を受けて明に、他の
半面を暗し、今徐よ之を回せば、其の明なる
所を漸く暗く、暗き所を漸く明なり。此の燭
火を太陽よ擬し、梨子又ハ橙子を地球と見

晝夜の理を示す図



倣せむ其の明なる
 半面を晝よして其
 の暗き半面を夜な
 り。
 前の例よ由りて地
 球の自回轉するに
 當りて太陽よ向ふ
 所を明よ且暖うよ
 して之を晝と云ひ
 其の太陽よ背く所

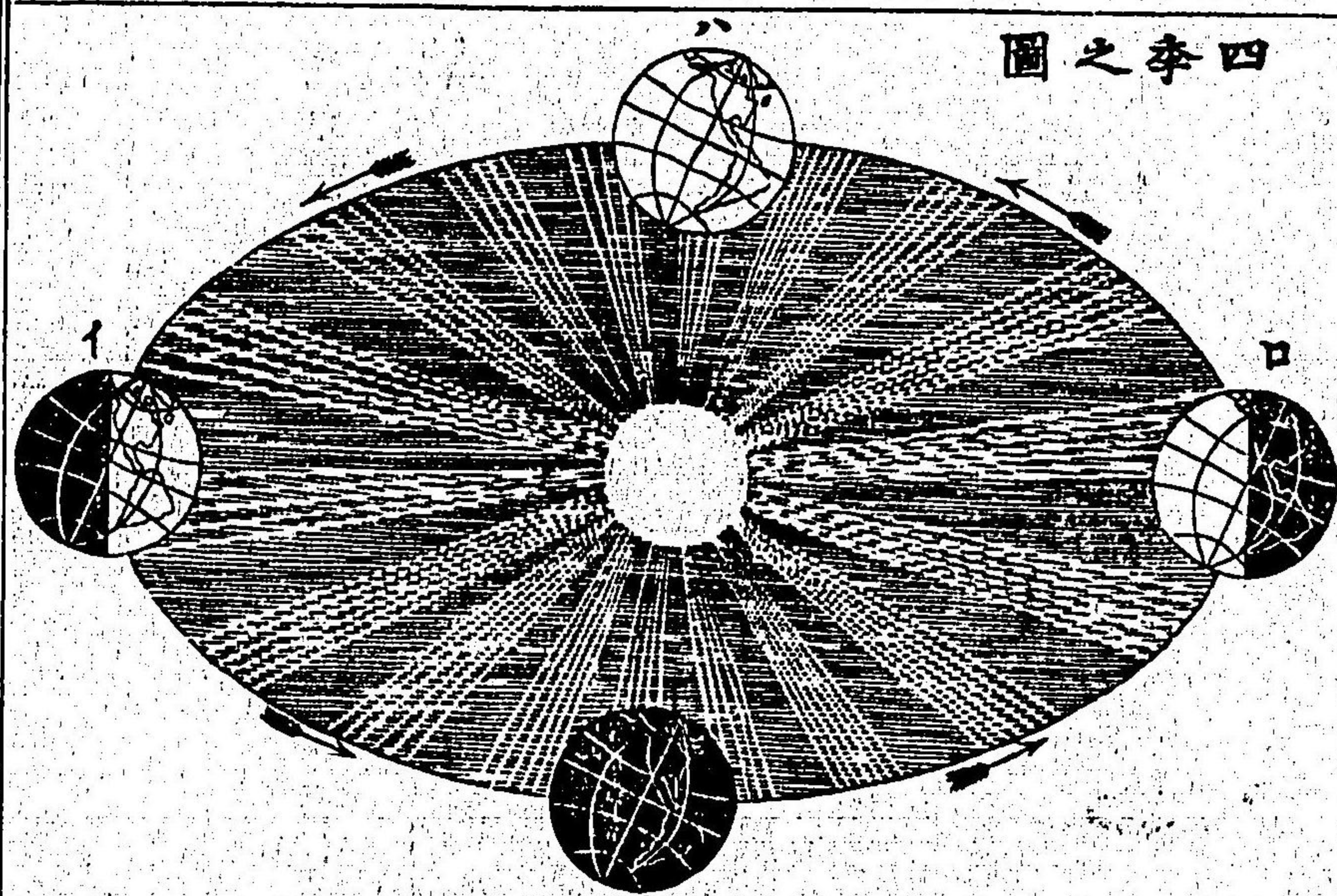
を暗く且冷うよして之を夜と云ふことを
 知り得べし。

地球の公轉即太陽の周圍を旋轉する道を、
 軌道と云ひ軌道よ由りて成まる平面を軌
 道の平面と云ふ。地軸の方向を軌道の平面
 と直角をなさせしめて二十三度二十八分の
 交角をなせり是即晝夜の長短及春夏秋冬
 四季の變更を生ずる原因なり。

六四季

地軸ハ常よ軌道の平面と二十三度二十八
 分の交角をなせしを以て運行中地球の位置

四季之圖



よ由りて、其の面よ
太陽の光線を受く
るの度同くからば、
即ち直射と斜射の別
あり、直射ふきを炎
熱よして、斜射なれ
を寒冷なり。

地球の圖よ示せる、
①③②④の順序よ
運行し、其の④③②①の

位置よ在るときは、太陽の光線赤道を直
射せるが故よ、世界中晝夜よ長短なし、之を
春秋二分と云。又②の處よても、北半球は光
線を受くること多き故よ、夏よして晝長
く夜短し、南半球も之よ反して冬なり。又④
の處よても、北半球ハ光線を受くること少
き故よ、冬よして晝短く夜長し、南半球も
之よ反して夏なり。而て太陽の光線も常よ
赤道地方よ於て、最多く且強くして、極よ至
るに従ひ漸次よ減少し、兩極地方よ於ても、

最少く且弱し。是に由りて土地の温度は通常其の緯度より關するものなり。

氣候及帶 氣候とは四季の特性より關する、温、涼、寒、熱及乾燥、濕潤等を云ふ。是其の土地の形勢、山海の向背より従ひて、之を異よはれども、地球表面の緯度より因りて、之を五より區別することを得べし、之を五帶と云ふ。

一、熱帶

赤道より南北各廿三度廿八分より當りて圈線あり、其の北より在るを北回歸線或は夏至線と云ひ、南より在るを南回歸線或は冬至線

二、寒帶

と云ふ。此の二至線の間より在る地も、一年中炎熱甚強く、唯、乾濕の二候あるのみなり、之を熱帶と云ふ。

又南北極より各二十三度二十八分の處より圈線あり、其の北より在るを北極線と云ひ、南より在るを南極

五帶之圖



八、溫帶

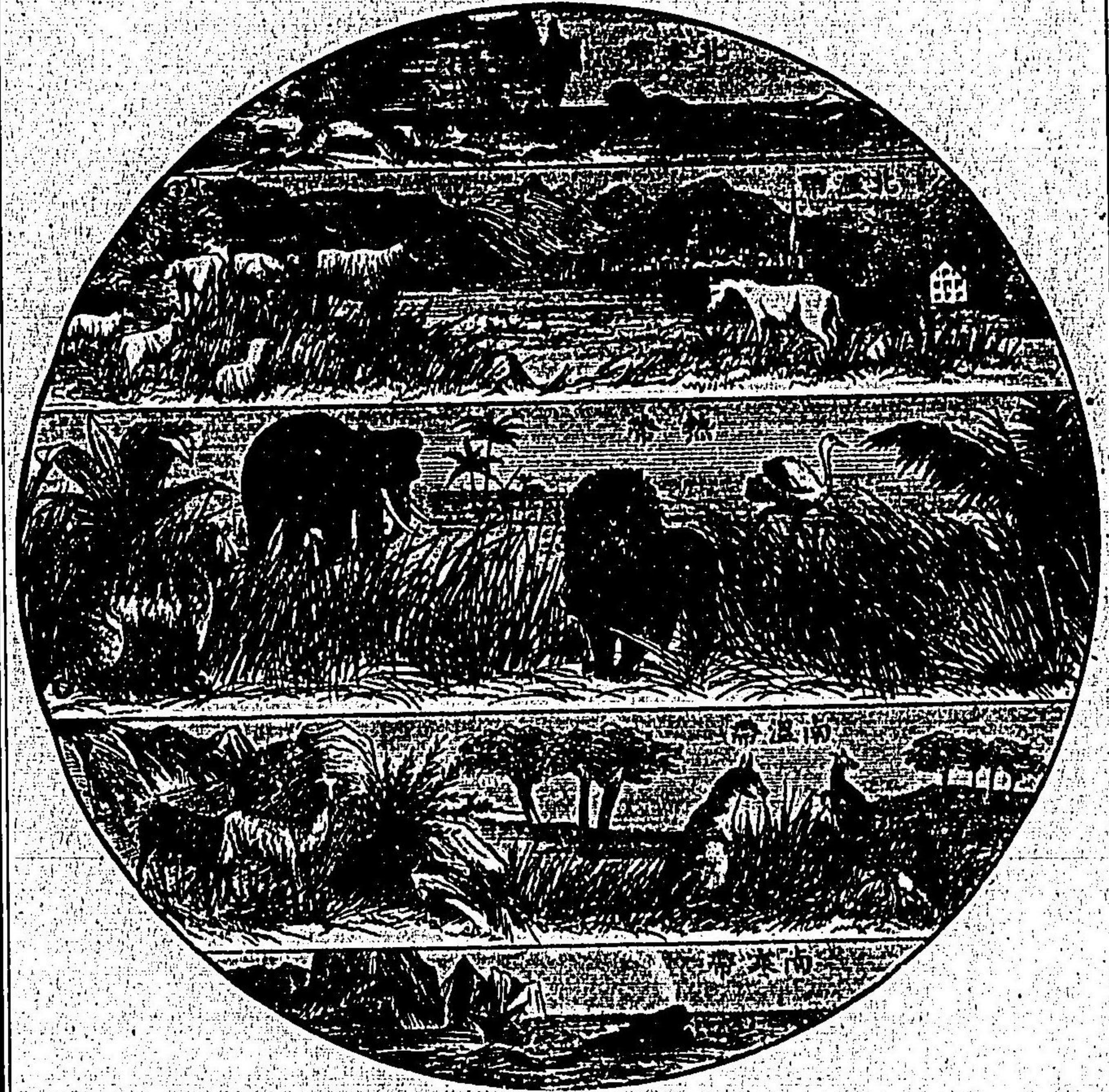
線と云ふ。此の二極線と、兩極との間に在る地は、日光を受くること極めて少く、寒氣酷しく、一年中唯冬、夏の二季あり、之を寒帯と云ふ。分ちて北寒帯、南寒帯の二と云。又二至線と兩極線との間も、寒熱共々甚くあらざりて、氣候溫和なり、故に溫帯又を中帯と稱せ、年中四季の變更あり、之を北溫帯、南溫帯の二に分つ。

八、動物

氣候異なきに、生物も亦隨ひて同くあらざり。熱帯を生物の成長極めて盛よして、動物も

象、獅、蟒、蛇、鸚、鵡、孔雀等の如き、猛惡巨大なる獸類、珍奇美麗なる鳥類、多く、植物も椰子、樹、檳榔の如く、長大に繁茂せるもの多し。寒帯を之よ反して、生物の發達不充分よして、馴鹿の如き柔順なる獸類、及蘚苔類の植物あるのみ。溫帯の動物を、其の猛きこと、熱帯の如くならざりて、牛、馬、羊の如き、有用なるもの多く、植物を穀物、果實を多しと云。氣候ハ又人性、風俗、健康等も關するに甚大なリ。熱帯の人ハ、性質懶惰よして、生業を勉め

五帶動物植物之圖



九人種
北寒帯の人ハ體軀短小ヨリて愚昧ナリ。唯
温帯の人ハ身體健康ヨリて智慮深く安寧
幸福ヨリて開化の度高く進めり。
地球上ヨ生活せる人民ハ其の外貌骨格各々
同トのらば一て著一き差違ありと雖之を
五種ヨ大別せべ一即コーカシアン人種モ
シゴリック人種マレイ人種亞非利加人種亞
米利加人種是ナリ。

イコカシアン人種ハ又白哲人種と稱せ。頭
顱殆正圓顔面略楕圓ヨリて前額直立一鼻

東洋の諸民族
上三 蒙古の諸民族
廿四 蒙古の諸民族

梁隆くして、顴骨突出せ、口唇小くして、歯牙並列し、身幹長大くして、肌膚卵白色く淡紅を帯ひ、毛髪多くは褐色くして、眼睛碧色を帯ぶ。

ロモゴリダ
人種

モンゴリダ
人種ハ
又黄色人種と名く

種人アシカコ



種人クリゴモ



ハムレイ種

頭體稍方くして、顔面平廣、顴骨秀で、鼻梁高からず、皮膚黄褐色くして、身體多く長大ならん、頭髮漆黒くして、鬚髭少なく、或ハ無きとのあり。

マレイ人種と云ふ、顴頂稍狭く、面廣く、顴骨凸出して、身體長大ならん、皮膚棕色くして、頭髮甚多く、且黒く軟ふくして、頗モン

種人イレマ



高國下也里書卷一

廿五 蒙古の諸民族

二、亞非利加人種

ゴリツク人種に似たり。

亞非利加人種ハ又黑人種と稱せ、髓骨狭く左右稍匾平にして前額傾き聳え、額高く鼻低廣にして鼻孔大なり、口唇ハ甚厚く且大よして前面より突出せるが如く、頭髮卷縮して肌膚極めて黒色なり。

種人加利非亞



ホ粟利加人

亞米利加人種ハ又銅色人種と名く、骨格稍

種

モンゴリツク人種よ

近く、顔面廣けれど、も平のならば、眼陷り鼻廣くして高く、頭髮疎よして黒く、鬚髭少く或ハ無き者多し、肌膚を銅赤色にして、或ハ暗黒色を帯ぶ。

種人加利米亞



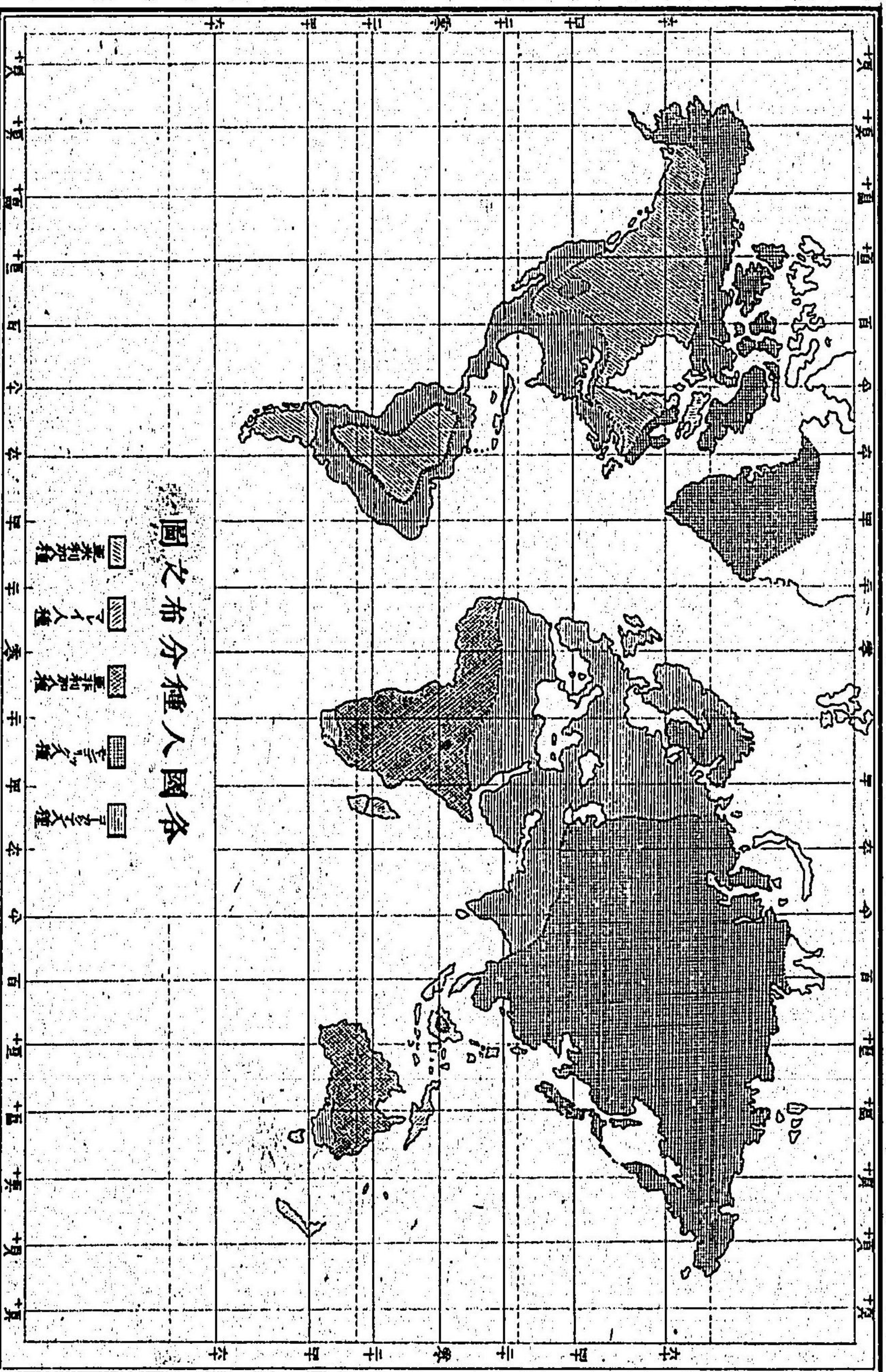
十、生活状態

地球の廣き、人民の夥き、自其の土地よ因りて風俗を異よし、智愚貴賤の景状種々相異なれども、其の性情及産業を營こ、互よ相交

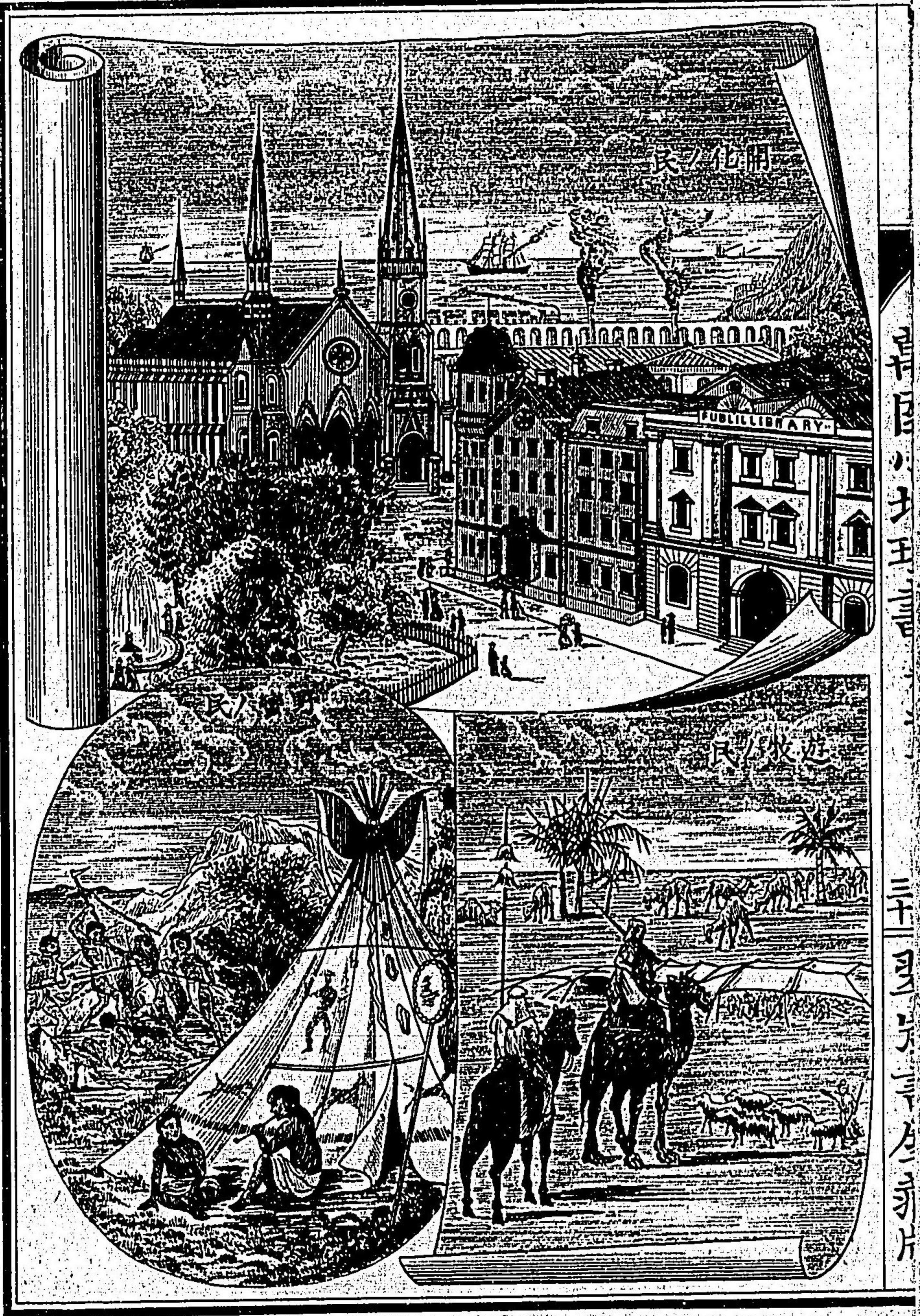
るの状態より従ひ之を三種より大別せることを得べし、即ち野蠻の民遊牧の民開化の民是なり。

野蠻の民ハ風俗兇暴にして多く粗屋小住み鳥獸魚介蟲類果實等此如き天然の食を仰ぎて耕作を知らば茫然として日月を送り人類中最下等此ものあり。

遊牧民
遊牧の民ハ曠野帳幕の中より住し其の牧する所の獸群と共に水草を逐ひて轉居し其の生命を全く獸畜に關するものなり。



各種人種分布圖



高田小也里書卷之一 三十一 聖書卷之九

八開化民

開化の民ハ整頓せる政府の下ニ居リ禮義廉恥の心厚ク學術技藝ニ通ジ各農商百工の業ニ従事シて各自の衣食を給セ又往々事物の理を推究シて精巧なる器械を發明せるものあり。

十宗教

宗教ハ善を勧め惡を懲リ人道を教ふるを以て目的とせるものニシテ其の宗派多クと雖之を大別シて二種トシ即チ一神教及多神教トシ。

一神教ハ獨上帝を信ぜる宗派ニシテ猶太

高田小也里書卷之一 三十一 聖書卷之九

教耶蘇教及回教の三種と云。

多神教ハ日月禽獸或ハ種々の偶像等を信
むる宗派よりて、婆羅門教佛教等を主と云。
其の傳來最古き者よりて、宗派甚多。

三、政府

政府ハ全國の人民を管理する所よりて立
君政府、共和政府の二種ハ大別也。
立君政府ハ國君一人よりて、全國の政權を總
ぶるものよりて、帝國、王國等の國ハ總
制なり。其の政治ハ君主獨裁立憲政體の二
種あり。

君主獨裁ハ政權全く君主一人ハ歸するも
のよりて、其の甚しきに至りてハ、生殺與奪
の權も、其の欲する處ハ任也。

立憲政體ハ法制を設けて、君主の權を制限
し、國民を以て國事ハ參與することを得せ
しむるものなり。

共和政府ハ國民の中より、貴族平民の別ハ
く、人望の歸する者を公撰して、全國を管理
せしむ、此の長官を大統領と號也。

高城與五郎編

亞細亞洲

一位置廣袤

亞細亞洲ハ東大陸の東北部ニ位シ、北緯一
度より起りて、七十五度ニ至リ、東經三十七
度より、百九十度ニ至ル。北ハ北氷洋ニ臨ミ、
東ニ太平洋ニ面シ、南ニ印度洋ニ濱シ、西ニ
山脈河湖ニ由リテ、歐羅巴ト境を限リ、又一
帯の地峽を以テ、僅ニ亞非利加洲ニ連タリ

幅員ハ島嶼を合せて二百七十六萬五千八百方里あり。諸大洲中の最大なるものよて、全世界大陸の三分の一を占む。

二地勢

本洲の海岸は不齊よして、殊よ東岸南岸を甚しと云。北氷洋よオビの内海あり。太平洋よハカムサカ及朝鮮の半島あり。樺太、千島、蝦夷島、本島、四國、九州、琉球、臺灣等の諸島ハ、脈をマレイ半島よ連ねて、オコツク海、日本海、支那海等を擁む。印度洋よ前印度後印度の二半島突出し、其の間をベンガル灣

と云ふ。アラビヤ海ハ、前印度の西よ在り。アラビヤ半島の東よオスマン灣、ペルシヤ灣あり、其の西よ紅海あり。又本洲西部よ地中海ルレーン、ブラックシー黒海等の内海あり。

内地ハ之を大別して三部と云。中央部は高峻の山脈、西より東よ向ひて連亘し、其の間よ數多の高原あり、大河を概源を此よ發せ。南部も亦高原多く、峻嶺各處よ聳えて、熱帯の地よ連り、北部を漸く低下して、廣濶なる原野となり、遠く北氷洋よ達せ。

三山脈及高原

山脈の最著名なるものをアルタイ山脈興安山脈天山崑崙山及ヒマラヤ山脈といひヒマラヤ山脈を其の脈中數座の高峯あり中よ就きてエベレストと稱せる一峯の如きは高二萬九千一百尺に達し世界第一の高山なり。

又歐羅巴の界よウラルコーカサスの二山脈ありて遠く斜に相對せり。

山脈と相連りて高原をなすの地多し殊に西藏の高原は最有名なるものよ一て海面

上壹萬二千尺に達せる所あり又洲の西部よイランアルミニヤ小亞細亞及ジリヤの高原あり。

沙漠ハゴビを以て第一としアラビヤトルキスタンペルシヤ等之よ次ぎて大なるものといふ。

四河湖

亞細亞洲の大河を中央部の山地よ發し其の山陰よ發せるものも概相平行して北流し山陽よ發せるものを東南よ流下す其の山陽よ發せるものを揚子江を最大な

るものとし、黄河之に次ぎ、其の他印度ガン
デス、カンボヂヤ、メナム、イラワテ、黒龍江及
イウフレチース、チグリリス等、最有名なるも
のといふ。

又其の山陰に發せるものハ、エニサイを第
一とし、オビ、レナ等之に次ぐ。

楊子江黄河ハ共ニ崑崙山ニ發源シ流程
一千數百里東支那海ニ注ギ頗運輸ノ便
ヲ爲セリオビレナエニサイノ三大河ハ
多ク河魚ヲ産スレ氏一年ノ殆半ハ河水
氷結シテ舟楫ニ便ナラズ
チグリリスイウフレチースノ兩河ハ下流
合シテ一トナリペルシヤ灣ニ入ル此兩
河ノ近傍ハ世界中最早ク人民ノ繁殖セ

シ所ナリト言ヒ傳ヘリ

湖の最大なるを裏海とし、鹹湖之に次ぎ、其

の他バイカル湖、バルカシ湖等頗有名なり

裏海鹹湖ハ洲ノ西部極メテ低地ニ在ル
ヲ以テ其水面ハ海面ヨリ低キコト八十
余尺ニ及ブ

五低地及地味

アルタイ山以北の平原ハ洲中の最廣大な
るものといふ。然まきども概寒地に屬せるを以
て、其の北部を終歳氷雪解けず、僅に蘚苔の
類を生むるのみ。南部を松柏の類を見まきど
も、空漠の草野多しといふ。

支那東部の平原も、黄河、揚子江の下流、此の地を流通し、地味沃饒、氣候温暖よりして、大に有用植物の繁茂に適せり。又ヒンドスタンの平原ハ、ガンヂス、印度兩大河の灌沃せる地よりして、地質沃饒、氣候炎熱なるを以て、諸種の植物盛に蕃茂し、異常の動物亦此の中より棲息せり。亞細亞、土耳其の平原も、イウフレチース、チグリス二大河の灌沃せる所よりして、亦土質膏腴の低地と云ふ。

平原及大河ノ近傍ハ概氣候温和、土地膏腴ニシテ運輸交通ノ便、動物繁殖ノ利アリテ最人民ノ居住ニ適セリ

六氣候及動植物

本洲の地ハ、南を熱帯より起り、北を寒帯の地より及ぶを以て、地方より従ひて氣候固より一様ならず。南部、印度及アラビヤ等の地方ハ、炎熱甚烈しく、中央部温帯の地方を寒熱共に甚しからば、又緯度益進むより従ひ、寒氣漸く強く、西比利亞ハ年中三分の二を河水氷結し、レナ河邊を最甚しく、冬月水銀凝結するに至る。

西藏ノ如キハ高地ナルヲ以テ緯度ニ比スレバ寒氣甚シク溫和ノ候稀ナリ

本洲の動植物も其の種類甚多く、又土地より從ひて大に異なり。南部地方も動物植物の蕃殖最盛にして、犀、象、虎、豹、巨蟒、駱駝等の巨大なる獸類及、鸚鵡、孔雀等、美麗なる鳥類多く、植物も、椰樹、檳榔、芭蕉等を産出。中部及北部の植物も、松、杉、栢、樺等の良材及、五穀、茶、桑等よりして、動物も亦有用のもの多し。又北方も、豺、狼、熊、羆等を産し、海中も鯨、海豹等を産せり。

七、各國

イ、支那

(一) 地勢

洲内含む所の邦國も、日本、支那、朝鮮、西比利亞、後印度、前印度、ペルシヤ、アフガニスタン、ヒルジスタン、トルキスタン、亞細亞、土耳其、アラビヤ等なり。

支那を本洲の東部よ在る大國よりして、殆全洲の三分の一を占め、夙に開けたる舊國にして、我邦とも隣邦の好最久しと云。

國內の地勢ハ、北、西南の三方を山岳重疊し、南方殊に峻嶮を極め、東南海に沿ふの地も、平坦よりして沃野相連なり。又西北部も、ゴ

万国地理書卷之一 四 亞細亞地理書屋前版

(二) 三大部

ビの大沙漠ありて東西より且まきり。域内を大別して、支那本部、支那韃靼及西藏の三大部と云。

支那本部を、元来の漢土よりして之を分ちて十八省と云。支那韃靼ハ本部及西藏の北に在りて、滿洲、蒙古、伊犁等屬國の總稱なり。又西藏は本部の西に在りて、之を前藏、後藏の二部に分つ。

支那本部ハ大平原ノ全部ヲ占メ文物風ニ開ケ人口最多キ部分ニシテ唐虞三代以降歴代邦國ノ隆替英雄ノ興亡ハ皆此内ニ在ルナリ

省ハ猶我邦ノ道ニ同シ然レドモ其大サハ固ヨリ同シカラズ一省ニシテ我全國ヨリモ大ナルモノアリ十八省トハ即直隸、山東、山西、河南、江蘇、安徽、浙江、福建、江西、廣東、廣西、雲南、貴州、湖南、湖北、四川、甘肅、陝西、是ナリ、元來韃靼ト名クル地方ハ東太平洋ノ岸ヨリ西裏海ニ達スル亞細亞中部ノ廣大ナル地方ノ總稱ナリ其中天山以西ノ部ハ支那ニ屬セザル故ニ之ヲ獨立韃靼ト部ト云ヒ其天山以東ノ地ヲ支那韃靼ト稱シテ支那ニ屬ス而テ滿洲ハ大半露西亞ニ歸セリ

(三) 生業及産物

此の國の重要なる生業を、農業及工業よりて、殊に耕作、養蠶、機織等は夙より盛に行をる。而て商業は之より次ぎ、漁、樵を其の次と云。

産物の著名なるものも、茶、生絲、絹布、陶器、漆器等よりして、其の他米穀、綿、砂糖、金、銀、寶石等を産に、殊に茶及絹布ハ、輸出品の主眼なるものと云。

陶器ハ古來名産ニシテ西洋人ハ陶器ヲ稱シテ支那ト唱フルニ至ル支那ノ物産ハ概我國ニ同ジキヲ以テ我國人ハ其品位ヲ良好ニシ其製造ヲ精巧ニシテ貿易上ノ利ヲ得ルコトヲ勉メザルベカラズ

(四) 都府

支那本部よ、北京、南京及廣東の三都會あり、北京を北部に在り、京城所在の地よりして、城市宏壯、人煙の稠きは、英京倫敦より次ぐ、然る

ども市街清潔ならざり、人口ハ凡し一百六十五萬あり。

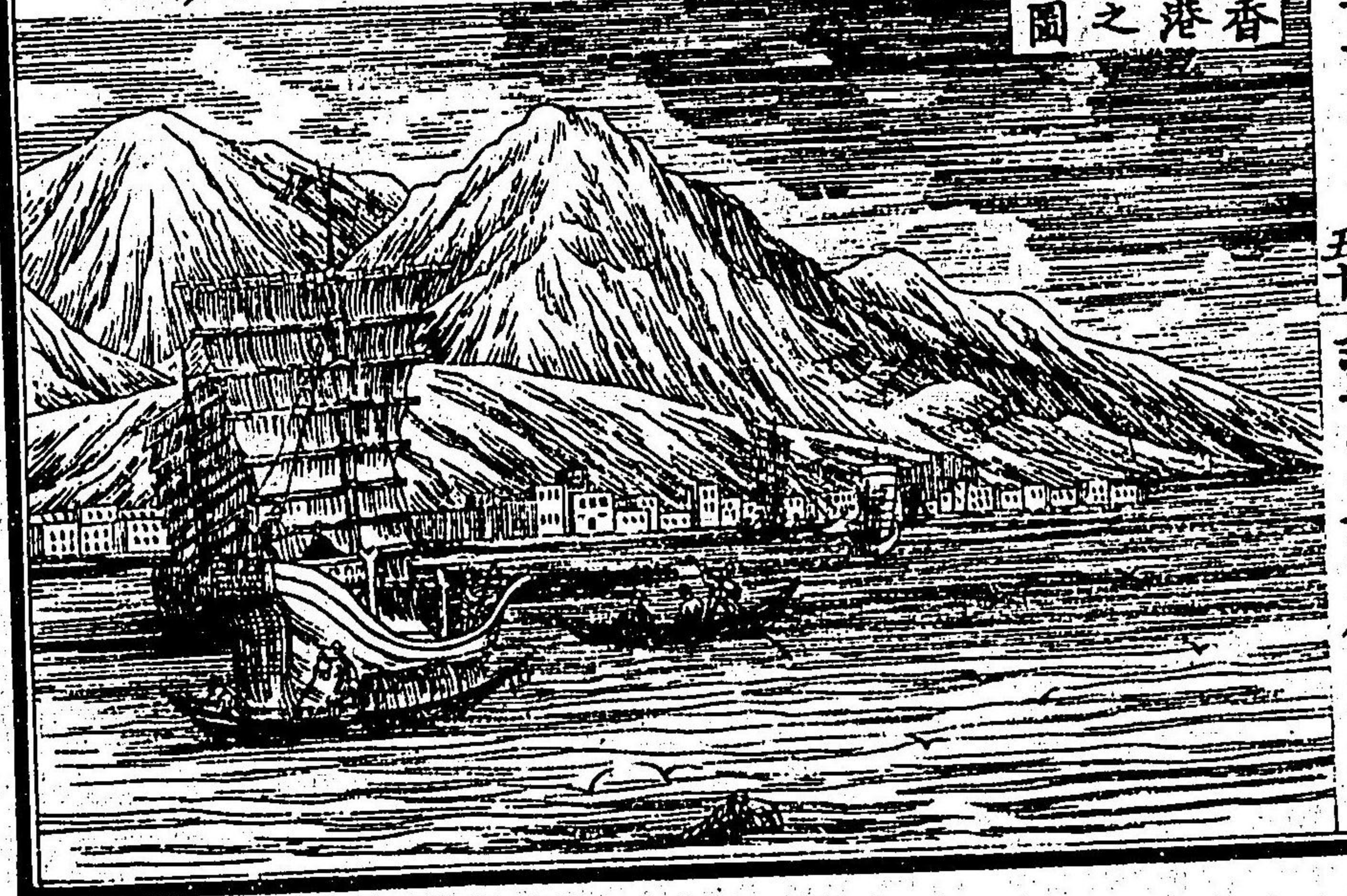
南京ハ中部に在り、支那の舊都よりして、人口凡し五十萬、其の繁華北京より次ぐ、廣東を南部に在り、商業頗盛なり、人口一百六十餘萬あり。

以上ノ三都ヲ以テ我邦ノ三都ニ比スレバ北京ハ城市宏壯ニシテ東京ニ比スベク南京ハ文華風流ノ地ニシテ西京ニ比スベシ、廣東ハ商業繁盛ニシテ大坂ニ比スベシ、又廣州府ト稱ス古へ海外ノ貿易場ハ唯此府ノミナリシヲ以テ當時頗繁盛ナリシガ鴉片ノ亂後別ニ數港ヲ開ク

ニヨリ稍衰フト
雖今尚盛ナリ人
民ハ舟ヲ家トシ
水上ニ住ム者多シ

香港之圖

又上海天津寧波厦
門漢口福州等の如
きも外國貿易場よ
して盛大なる都會
なり。又英領香港ハ
廣東よ近き一島よ
して東洋第一の碇
泊場と稱せ。



香港ハ元來支那ノ版圖ナリシガ鴉片戰
争ノ和議ノ後永ク英領ニ歸シ英國ヨリ
鎮臺ヲ置キテ之ヲ管轄セリ府ヲヴイク
トリヤト名ク人口十二萬五千餘ニシテ
概支那人ナリ

奉天府も滿州の首府よして人口五十萬あ
り、又其の北よ吉林あり。

滿州ハ清朝ノ本國ナレハ漸々露西亞ノ
蠶食ヲ被リ支那ノ領スル處ハ今ハ半ニ
過ギズ

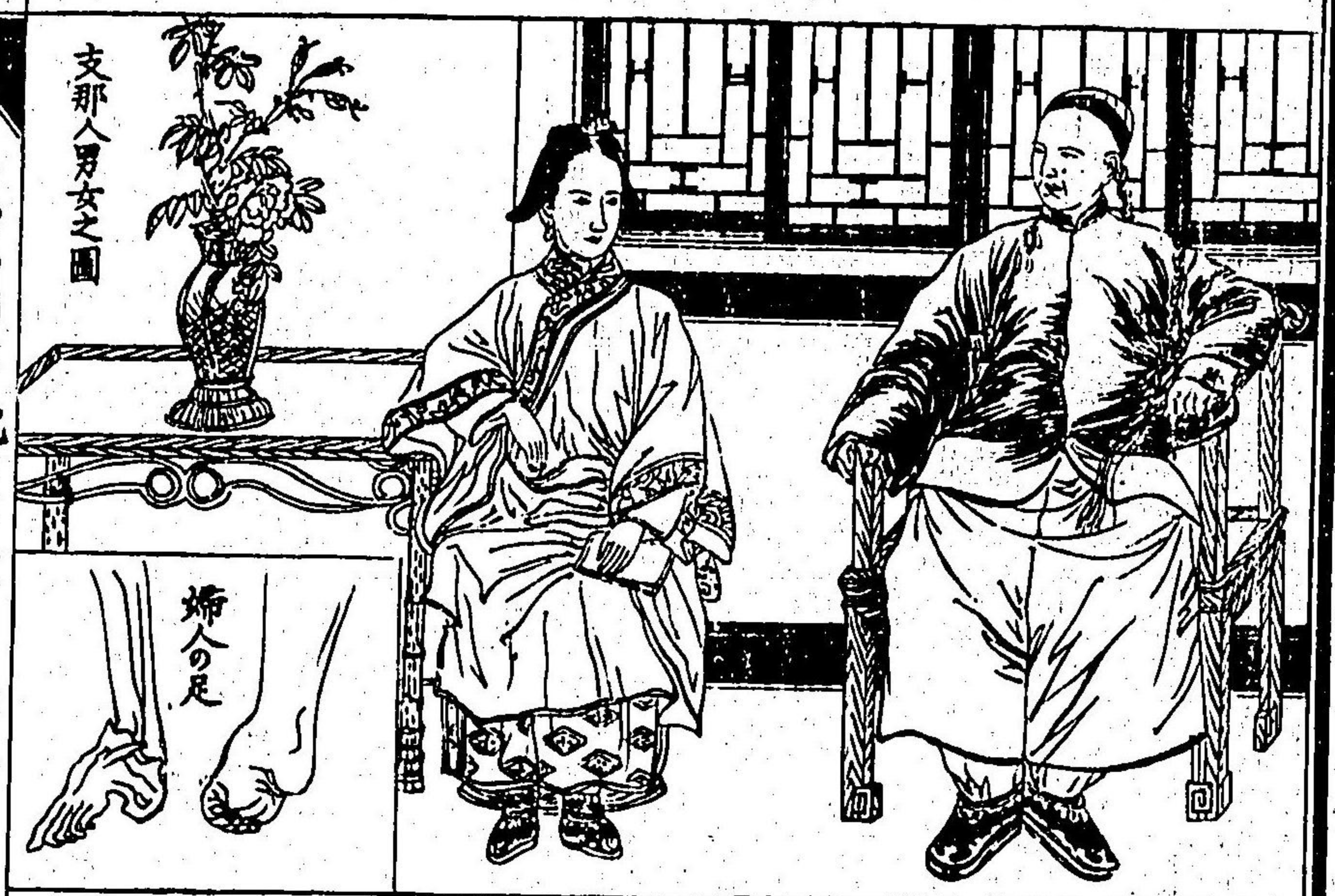
ドロノル府ハ内蒙古第一の都會よして絹
布銅鐵の製造品多く、又佛具を造りて内地
よ輸出せ。カラコルムも外蒙古の中央よ在

り。賣買城を西比利亞國界の山中に在りて、露西亞との貿易場なり。

ヤルカンドを伊犁地方の都會として、人口六萬餘、西南にカシガル府あり、東南にコーデン府あり、共に隊商往来して貿易盛なり。ラツサを西藏の首府として、人口五萬餘、支那の鎮臺あり、又壯麗なる佛宇堂塔ありて、其の結構頗る華美を極む。

(五) 人民

宗教は佛教及儒教を奉じ、其の風俗、男を髮を剃みて、長く背後に垂き、女を足の小なる



支那人男女之圖

婦人の足

を貴み、幼時より之を局めて、強ひて長せざらむ。

支那人ハ貴賤ヲ論セズ皆辨髮ナリ其狀ニ少許ヲ剃去シ頂上ニ辨髮ヲ遺シテ之ヲ世ハ之ヲ朝リテ豚尾ト云フ貴人ハ爪ヲ畜ヘ寸余ノ長ニ至ル者アリ又女子ハ生レテ五六才ニ及ベバ布ヲ以テ足ヲ縛リテ之ヲ紮着ス之ヲ金連ト稱ス故ニ其形

ハ馬蹄ノ如ク殆歩行スベカラズ

人民ハ勤勉節儉ヨシテ能ク勞苦ヲ堪ヘ又文學を勉メ禮讓を重んじと雖風俗概固陋ヨシテ舊習を革むることを欲せず徒々虚飾ヲ流キ又詭詐狡猾惡むべきの俗あり。

支那ハ古ヲ貴ミ今ヲ賤ミ自ラ尊大ニシテ外國ヲ蔑視シ屢信義ヲ失フコトアリ

奇蹟

支那ヨシテ二の奇蹟何レ其の一ニ萬里ノ長城ヨシテ長五百餘里ヨリ其の二ニ運河と稱せる溝渠ヨシテ長二百八十里あり大ニ舟運の便をおた。

萬里ノ長城ハ今ヲ去ルコト凡ニ千餘年前秦始皇帝匈奴ヲ防ク爲ニ築キタル城壁ニシテ東ハ遼東ヨリ起リ西ハ嘉峪關ニ達ス山川ヲ横斷シ深谷ヲ亘リ高サ二丈五尺厚サ一丈五尺其ノ外面ハ四角ナル煉石ヲ疊ミテ築キ上ニ凸凹形ノ然トシテ現時依然トシテ破壊スルニ至ラズ

萬里ノ長城之圖



萬里ノ長城

五十四

百七十年前隋ノ煬帝ノ鑿テル溝渠ニシテ黄河ト揚子江トヲ貫流ス而テ其北部ハ元代ニ於テ之ヲ増鑿セリト云フ

(七) 屬島

海岸の屬島多しと雖臺灣瓊州を最大なりと云

臺灣島ハ西部一半支那ニ屬シ東部一半ハ土人ニ屬ス風俗甚卑陋ナリ
瓊州ハ廣東ノ近海東京灣ニ在リ臺灣ヨリ差小ナリ

只朝鮮

朝鮮を滿州に接し南に突出せる半島國よして東端ハ我對馬を距ること僅に十一里餘なり。

(一) 地勢

一帶の山脈國中よ綿亘之を小白山と云

(二) 氣候及產物

ふ。此の山の西方ハ平野多く地味肥沃なり氣候を寒暑共よ甚しく穀物果實藥品煙草材木等を産す。

(三) 都府

首府を漢城と云ふ國の中央漢江の北岸に在り。漢江ハ大河よして運送の便あり。河口を江華島と云。海港を東南岸よ釜山浦あり。東岸よ元山津あり。西岸よ仁川あり。釜山浦仁川よ我邦人の居留して貿易をなすもの多し。

ハ西比利亞

西比利亞を亞細亞北部の總稱よして西を

(一)地勢

ウラル嶺より東をベーリング海峡に至り、北は北氷洋に臨む。全土露西亞の所領あり。西部ハ、アルタイ山より徐々北方に傾き、平原千里渺として際あり。東南部を山嶺起伏し、殊にカムサッカ半島は、處々火山あり。此の國ハ氣候寒冽なるが故に、産物も乏しく、唯金銀寶石及獸皮の如き、生素の物を以て名産とす。

(二)氣候及産物

(三)都府

トボルスク府を西部に在り。イルコーツク府を東部に在り。共に其の地方の首府なり。

て著名なりとす。其
の他トムスク、ヤコ
ーツク、オコツク
ニコライツク等の
都會あり。又カムサ
カの都會なるペト
ロホールスキ、及朝
鮮に近きウラジオ
ストック府も、共に露
西亞の東海兵備の

馴鹿ヲ引ク圖



(四) 人民

要地なり。

土地の廣大なるよ比をきむ、住民甚少く、土人を漁獵を業とす、或ハ水草を逐ひて遊牧を、馴鹿を此の地方よ於て、要用なる獸よして、土人を之を使役して、橈を引かゝり、或ハ其の肉を食ひ、其の皮を著る者多し。

二後印度

後印度ハ、支那の南方よ在り、支那海及印度海よ臨む地方よして、數多の邦國を包有せ、其の中安南、暹羅、緬甸等を以て、最著名なるものと云ふ。又西岸の地を英領緬甸と稱して、

(一) 地勢

英領よ歸し、南端の地をマレー半島と名く、安南ハ佛國政府ノ保護ヲ仰ギ緬甸ハ英國政府ノ所轄ヲ受ク北をヒマラヤの山脈を負ひ、大小の江河此より發源し、南よ流きて海よ注ぐ。

(二) 氣候及產物

此の地ハ熱帶よ在るを以て、氣候炎熱、土地膏腴よして、米穀胡椒、香料及狸々、孔雀等の珍禽奇獸を出し、又壯大なる象を産せ。

(三) 都府

安南の首府をフウエと云ひ、暹羅の首府をバンコックと云ふ、其の國王の都城あり

バンコックハメナム河口ニ在リ河水頗廣濶ニシテ大船ヲ容ルハニ足ル居民ハ家

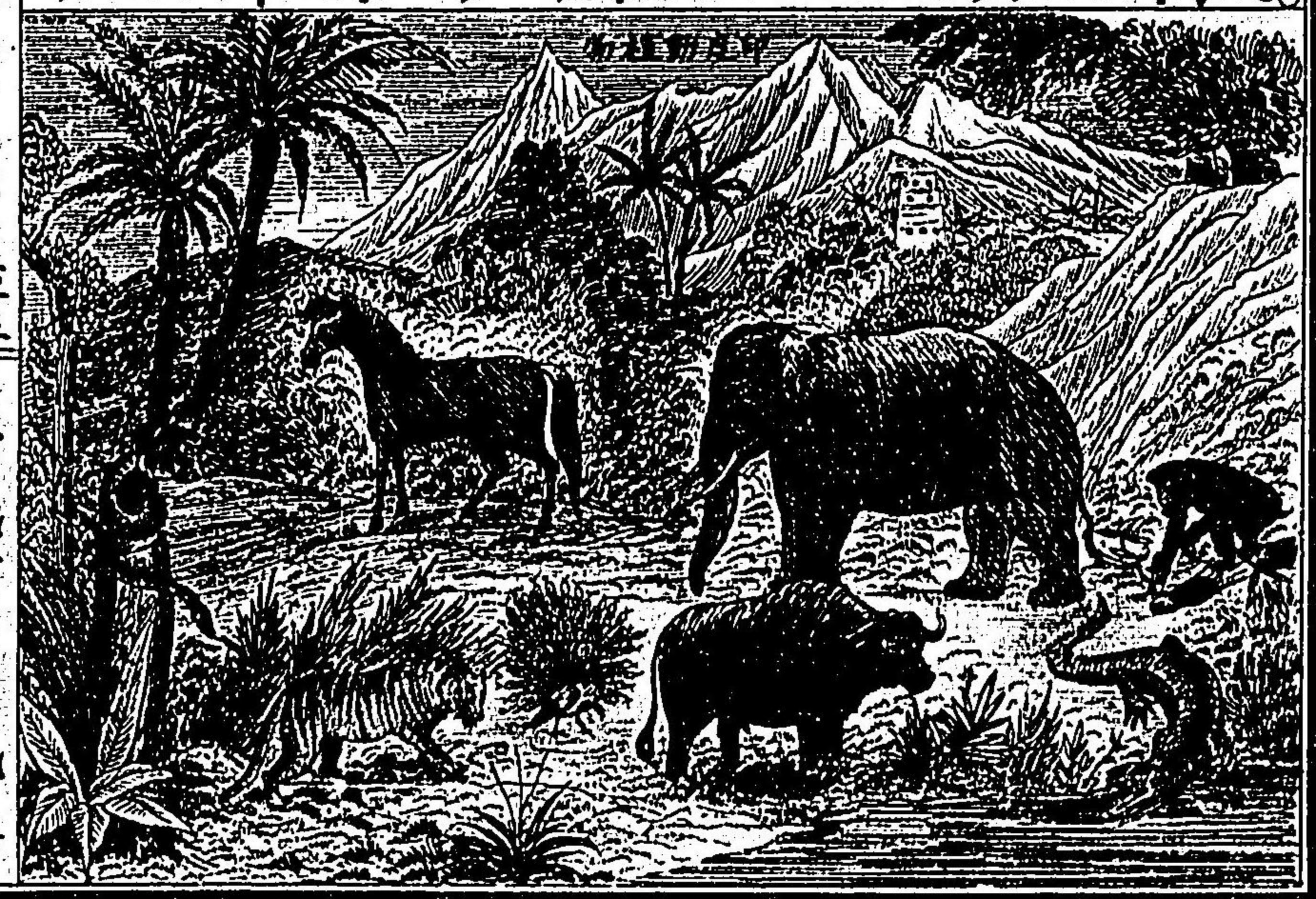
高麗、地理書卷之二 六十一 地理書卷之二

名の沃野なり之をヒンドスタンと云ふ南部ハ海中ニ突出したる三角状の部分よりて、ゴモリン海角よりゴーツの連山東西に分る其の間の高原をデカンと名く。

印度地方ハ全土概英領ニ歸シ又稀ニ佛國葡國ノ所領アリ然レドモ中ニ尚獨立ノ部アリゾグーターニツポルノ如キ是ナリ

(二)氣候及前印度ハ氣候酷熱よりて且夏月の候頗長し。物産ハ草木鳥獸より金石珠玉に至る迄其の種類甚多く殊に金剛石及其他の寶石に富み又盛に鐵石炭を産せ鴉片藥種ハ其

(三)都府の主眼なるものと云ふ。カルコッタハガンヂス河口に在る英領の首府よりて人口六十五萬あり此の地より諸方の都府に達する鐵道ありて、往来運輸共に自在なり又マドラスボンベイは之に次



ぎて、印度中の大都會なり。

カルコッタハ軍艦商船港頭ニ輻湊シ市街ハ歐風ノ官署邸宅等アリテ頗美麗ナリト雖モ其一部土人ノ住スル處ハ矮屋相連リ穢陋最甚シマドラスハ船泊ヲ泊スベキ港灣ナキヲ以テ上陸ニ不便ナリボンベイハ歐洲ノ要衝ナル良港ニシテ通商甚盛ナリ

(四) 人民

人民一般ニ神佛を信シ、偶像を拜シて冥福を禱リ、諸處の靈地を拜する者殊ニ多シ。婆羅門教ハ上古より此の國ニ盛ニ行をる。宗教ヨリて佛教ハ其の一派なり。又昔より門閥を重きるの風ありて、尊卑を區別せる

こと甚嚴なり。

婆羅門教ハ佛教ヨリ千餘年前既ニ盛ニ行ハル。宗教ニシテ弊習最多キモノトス。婆羅門教ノ外又回教ヲ奉スル者多シ。地ニハ行ハレズ。僧侶ハ貴人ノ地位ヲ占メ士族之ニ次ギ農工商民ヲ最卑賤ノ者トス。其生業ヲ改メ互ニ相嫁娶スルコトヲ得ズ。

(五) 錫蘭

コモリン海角の近海ニ在る大島を錫蘭と云ふ。昔釋迦の教法を修めたる地ヨリて、今尚其の古蹟を存シ、土人皆佛教を尊信ス。島内土地肥沃ヨリて、寶石、良材及咖啡を産ス。ペルシヤハ前印度の西ニ在リ。北ニ裏海ヨ

ペルシヤ

萬國小地理書卷之一 第六 亞非利加洲 屋脊山脈

接し南をヘルシヤ灣を隔て、アラビヤと相對也。

(一)地勢

南部の海濱より内地に至る迄總べて低地にして暑氣最甚しく、椰樹檳榔の外草木を見ず。中央以東を次第より沙磧の高原となり、水流草木益少し。又西部を山岳相連り、谿間往々豊饒の地あり。

(二)生業及産物

人民農業を勤め、蠶業機織の業盛なり。藥草、眞珠、毛布、絹布等を著名の産物とす。

(三)都府

首府をテヘランと云ふ。人口十萬餘、王城あり。

(四)人民

りて宏壯なり又イスパハンを、往時の首都なれども、今を衰敗して、人口二萬より過ぎず。國民は容貌閑雅にして、禮式を重んじ、學問を好む。宗教は概回教を奉ぜ。

政制は君主獨裁にして、國王を沙と稱す。

トアガニス
タン及
ビルチス
タン

印度とヘルシヤとの間なる地方の北部をアフガニスタンと云ひ、南部をビルチスタんと云ふ。此の二國は、完全の邦國をなせよ非ぞ、域内分裂して數部落をかゝる。

(一)氣候及

此の二國は、終年雨少く、氣候甚乾燥なり。産

産物

(二)都府

物ハ、礦物、果物、煙草等と云。

カボウルハ、兩國中最著名の都府よりて、鞆、印度交通の要路に當り、貿易盛なり。其の他、アフガニスタンよりヘラツト、カンダハル等の都府あり。ビルヂスタンのケラツトを、隊商往来して、貿易稍盛なり。

(三)人民

住民を概、回教を奉じ、風俗悍勇野鄙よりて、農業を營む者少く、遊牧の野民多し。

トリスタン

トルキスタンハ、一は獨立鞆鞆と稱せ、北を西比利亞に接し、西を裏海に瀕し、東南を支

(一)氣候及産物

那鞆鞆及アフガニスタン、ペルシヤに界せ、域内數個の部落より別き、各汗と稱せる君長あり、其の勢力今は大に衰へ、全土殆露領に歸せんと云るの勢あり。

(二)都府

氣候寒熱共し酷しく、耕種し便ならず、金銀、絹帛、馬、騾、馬、羊等を産せ。

ボツカラを人口七萬内地の貿易多く、隊商往来せ、コウカン府を國內東部貿易の市場よりて、絹帛類を出せこと多し。又サマルカント府を、今ハ甚衰微きたまども、往時繁榮

の時の遺物尚見るべきもの多し。

サマルカント府ハ往時帖木兒ノ都セシ
處ニシテ當時其威勢ノ強大ナルトキハ
亞細亞ノ大半ヲ並呑シ歐羅巴亞非利加
等ヲ蠶食シタル程ノ大國ノ首府ニシテ
府内繁盛人口十五萬アリシガ其後數々
兵亂ヲ經テ衰微セリ

リ亞細亞土耳其ハ東をペルシヤよ界し黒海

地中海よ突出して本洲の西隅に在り。

(一)地勢

境内概山岳相連り西南の部分に沙漠の地
多し。土地を大別して小亞細亞_部西北、シリヤ

西南、アルミニヤ_部東北、メソホタミヤ_部中央ヨリ
東南部

の四部と云。

(二)氣候及
産物

氣候温和よして肥沃の地あり。物産ハ穀類
木綿煙草生糸毛氈藥材護謨等なり。

(三)都府

スミルナを西岸の海灣に在る都府よして、
此の國第一の海港あり、歐米各國の商船碇
泊して貿易盛に行むる。アイヂヒ府も亦交
易場あり。此の兩都の間を、近来鐵道を通じ、
運輸往来便利よして愈繁盛を増せり。其の
他ダマスカス、エルサルム等の都府あり。

エルサルムハ古来有名ノ地ニシテ回教
ノ靈地ホーマルノ堂宇ハ金銀ノ修飾眼
ヲ驚スベキ華麗ヲ盡セリ又耶蘇基督ノ
墳墓ハ此府内ニ在リ

萬國小地理書卷之一
亞細亞書屋藏版

(四) 人民

國民の風俗言語地方に従ひて異同あり。人種も亦相錯雜せり。教法を一般に回教を奉じと雖も人種の異なるに因りて、耶蘇猶太及種々の異教を奉信せるものあり。

又アラビヤ本洲の西南隅に在る一大半島

(一) 地勢

國より北ハシリヤに連り、東をペルシヤ灣に臨み、西南ハ紅海及アラビヤ海に濱し、域内大なりと雖、全く瘠地にして、沙漠連亘し、氣候酷熱乾燥ふるが故に、殆ど耕作をせざる地なきに如し、然きども内部には新月形の

高原あり、山澤水草に富み、人民多く之に居る。海濱一帯を低地にして、地味肥沃あり。

内地ノ沙漠ヲ旅行スル者ハ駱駝ニ駕シ隊ヲ結ビ又磁針ヲ索シ星斗ヲ指點シテ方向ヲ定ムルハ大洋ヲ航スルモノニ異ナラズ
國ノ西北隅ニシナイ山アリ巉岩山骨ヲ露ハシ高九千尺ニ達ス上古モセスノ神人ヨリ十誡ヲ受ケシト言ヒ傳フル猶太教ノ靈地ナリ

(二) 産物

此の國に於て、有名なる産物に、駱駝、駿馬、騾馬、及咖啡、ペルシヤ棗、護謨等の植物あり。又オーマンの海灣に、巨大なる真珠を生じ、首府をメッカと云ふ、交易甚盛なり。メジナ

(三) 都府

萬國小地理書卷之一
三五
亞細亞書屋藏版

府をマホメットの死したる地として今尚華麗なる堂宇あり。

メツカハマホメットノ生レタル地ナリ故ニ回教ノ門徒ハ靈地トナシ其巡拜スル者ハ必ス此地ニ来ル又メジナ府内ノマホメットノ堂宇ニハ金銀ヲ用ヒテ飾リタル鐵棺ニ其遺骸ヲ收メ常ニ數百ノ銀燈ヲ供シ又堂宇ノ修飾頗美麗ヲ盡セリ

又マスカットはオーマン灣に臨み貿易盛なり。アデンハ此の國の西南隅に在る郵船寄泊の良港として英國に屬せり。

八附説

本洲の人口ハ七億八千餘萬あり其の人種ハモンゴリク、コーカシアン、マレイの三種

より成る。而てモンゴリク種を最多數として、人口七分を占む。

支那印度の如きは、上古歐洲各國の蒙昧野蠻の時より方りて、文物夙に開け近隣諸國又其の化を蒙りしも、惜いゝな人民實學を勉めず、驕傲自尊として、進歩をおここと能はず。今尚一般に未開たるを免まざる。

各國の政體概君主獨裁として、生殺與奪の權一に君主に歸し、我日本を除くの外は、立憲政體の基を建てたるものなり。國力委微

として振をぐ。航路の要地を、歐洲各國よ占めらるる。從ひて商權亦其の領する所とある。又或ハ土地を蠶食せらるる。此勢あり。宗教も、西部諸國ハ回教を奉り、東部諸國ハ概佛敎を信奉す。

亞非利加洲

一、位置及廣袤 亞非利加洲を東大陸の西南部ふる大洲として北緯三十七度より、南緯三十四度より、東經五十二度より、西經十七度に至る。紅海

地中海及印度洋、大西洋を以て、殆洲の四面を圍み、東北の一隅、スエスの地峽を以て、僅よ亞細亞に連る。

幅員百八十二萬八千五百方里あり。

スエスノ地峽ハ近時一大溝渠ヲ鑿チテ東西兩洋ノ航路ヲ開キタリ此工事ノ成ラザリシ以前ハ東西洋交通ノ船ハ赤道ヲ横過シ遠ク亞非利加ノ南端ヲ廻リシニ因リ困難ヲ極メシガ佛蘭西人ノ企ニテ此地峽ヲ鑿チ大ニ航通ニ便益ヲ與タリ

二、地勢

赤道より北緯の地は概平坦よして廣く、其の以南の地ハ大半高原よして、又處々よ沙瘠の地を交へ、極南一大海角をなす、即南部

高原中央高原是なり。海岸は山脈多く、中央以北ハ渺茫たる大沙漠ありて、東西は連亘也。内地ハ人跡の未到らざる處多し。

本洲ハ岬灣の出入少きを以て、土地の面積は較ぶまじ、海岸甚長からば、内地も亦舟楫を通ぜべき江河乏しく、此の洲の如く交通は不便なるは、他は其の比類を見ず。

山脈の大なるものを、北はアタラス山脈あり。中央山脈を内地に連綿し、其の一派コング脈を西部に亘り、西南山脈は海岸を繞り

三、山脈

て南部の諸山に連り。東南山脈を、南端喜望峯の邊より、東南の海岸を走りて、アテンの海灣に達す。其の間キリマンジャロの高峯あり、即ち洲内第一の高山なり。

四、河湖

ナイル河も、本洲第一の大河にして、古代より殊に著名なりと云、源をアルベルトニアにザウグトリニアンザの二湖に發し、北流して地中海に注ぐ、流程一千五百里あり。ナイジア河を之に次ぎて、大なるものより、コング山の北面に發し、ギニヤ灣に注ぐ。

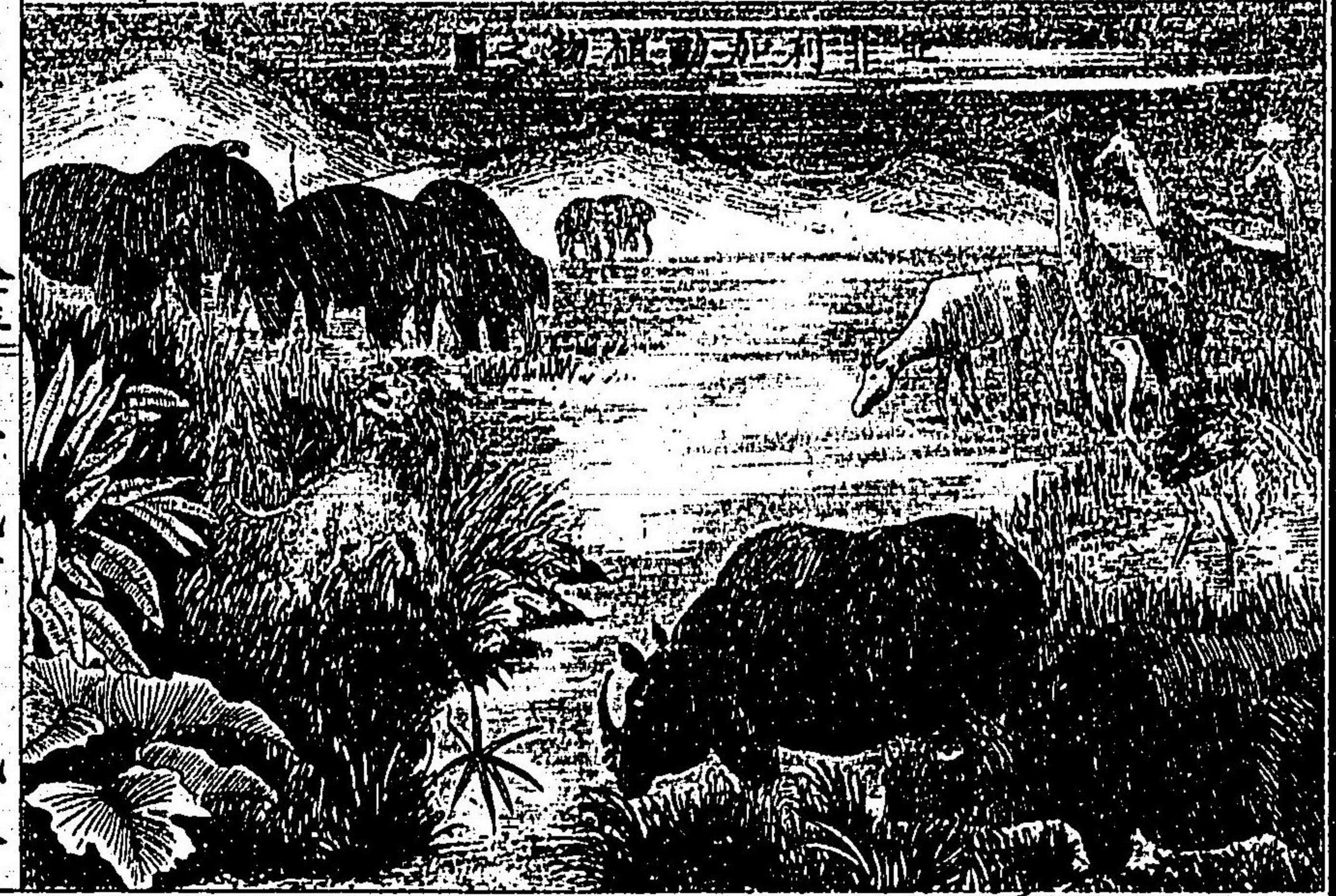
其の他西岸よセネガル河、ゴロンビヤ河、コ
ンゴウ河、オレンジ河等あり、又東岸よザム
ベジイ河あり、皆本洲の大河なり。

湖水の大なるものを、ウグトリニア、ンザ、ア
ルベルトニア、ンザ、タンガニカ湖及中部の
高原よ在る、チャツド湖等と云。又西北の諸部
よ、小なる鹹湖多し。

五、氣候及
動植物
全洲概熱帯よ位を以て、炎熱極めて甚
しく、南北の兩端、温帯の地と雖、尚他の地方
より、温度高しと云。且或ハ數月の中一雨を

見ぞ、甚乾燥の地あ
り、故よ氣候ハ概人
身よ適せし。

本洲を深林、廣野多
く、巨大猛烈なる動
物夥しく棲息也。中
よ就きて、獅子、象、河
馬、之、獅、獅、駝鳥等も、
其の最著名なるも
のなり。又豺、狼、麋、鹿



猿猴鸚鵡等の種類多く、河水瀦澤よむ、鱈魚群をなす、深山幽谷よむ、巨蟒多し。

植物も亦種類多く、椰樹、檳榔、芭蕉等を到る處よ、叢生し、西岸及東南諸部よむ、殊よ、森林

鬱茂して、間三四千歳より六千歳を閱る大樹あり。

カナリヤ島中ニ龍血樹ト名クル大樹アリ世界第一ノ古樹ト稱ス

地中海沿岸の地を、地味穀類よ適し、殊よ野薔薇、杜松等を産す。

六地方 本洲を地質荒漠よして、概未開の邦土及蠻

野の部落相錯雜し、盡國名を以て分つこと能む。

全洲を大別して、ナイル地方、北部亞非利加、サハラ地方、東部亞非利加、南部亞非利加、西部亞非利加、中部亞非利加、及亞非利加諸島の八部とす。

ナイル地方 ナイル地方を、本洲の東北部よして、紅海の沿岸、ナイル河の通過せる地方を云ふ。域内を分ちて、埃及、ヌビヤ、及アビシニヤの三部とす。

(一) 埃及

埃及も、ナイル地方の最北部に在りて、地中海に臨み、上古希臘の未國を成さざりし頃既に文學、技藝盛に開けたる著名の舊國なり。故に壯偉なる奇蹟あり、三角塔、獅身像、最奇觀なり。國內概平

三角塔之圖



坦にして、水利乏し、唯ナイルの大流、毎年一次漲溢せるを以て、其の兩岸の地を甚肥沃にして、穀物、果實、綿花、藍青、駱駝、驛馬等を産す。

ナイル河ハ毎年夏秋ノ頃漲溢シ全國恰一大湖ノ如ク水退ケバ田畝皆潤ヒテ沃土トナル然レドモ其漲溢甚シキ時ハ家屋ヲ流失シ人畜ヲ溺没スルノ恐アリ又平常ヨリ低キ時ハ或ハ凶歉ノ患アリト云フ埃及ハ元來雨寡キ國ナルガ故ニ若シナイル河ノ漲浸ナカラシメバ全土沙漠ト變シ一物モ生育スルニ能ハザルベシ是奇異ナル天福ト謂フベシ

カイロウ也、此の國の首府にして、本洲第一

の大都府と稱す、ナイル河の東岸に在り、人口三十六萬餘あり。

アレキサンドリヤも、埃及第一の海港として、貿易盛なり、人口八萬餘あり。

(二)ヌビヤ

ヌビヤを埃及の屬地として、其の南隣に在り。ナイル河岸の地も、土質肥沃なりと雖、其の他を概沙漠あり。氣候の炎熱あること、埃及より更に甚しく。産物も麻、煙草、香木、甘蔗、象牙等なり。

(三)アビシニヤ

アビシニヤも、ヌビヤの南に接する地方に

して、山岳域内は充塞し、從ひて土地の高低一様ならず。

首府をコンダルといふ、石造の王宮ありて、頗壯大あり。

口北亞非利加

北部亞非利加も、又バルバリと稱し、地中海に濱する地方の總稱にして、域内をトリポリ、チュニス、アルゼリア、モロッコの四部に分つ。其の他をザンバルカも概トリポリに屬す。アタラス山脈、南方に連亘し、大沙漠を限り、其の熱氣を遮るが故に、氣候溫和あり。且

此の山脈より河水流出して、處々を灌漑し、肥沃の地多く、花卉繁茂し、穀物果實を産せ。又礦物も富み、良馬を産せ。此等の諸國の住民ハ、隊を結びて沙漠を越え、貿易をなすもの多し。其の他ハ概遊牧の蕃種にして、風俗兇暴なり。

モロッコは獨立の帝國にして、アルゼリアハ佛國に屬し、其の他ハ概土耳其に歸せり。各國の首府、皆其の國と名を同くせ、又各數個の都邑あり。中よ就きて、チュニス府も、バ

ハガラ地方

ルバリ地方第一の都會と稱せ。

サハラも、北部亞非利加の西南に在りて、西を大西洋の濱より、東ハ埃及及ヌビヤに達し、其の長千有餘里、南北四百六七十里に出入せる大沙漠なり、周歲雨なく、炎熱酷烈にして、草木を生せず。然きども處々泉池と稱せる水草も富める地ありて、土人の僅に村落をなせる者あり。

北部亞非利加諸邦の商賈數百隊をなし、食糧貨物を駱駝に負はしめ、内地の諸蕃と貿易

走るもの、泉池の間を往来し、時々暴風よ遇ひ、全隊を埋没せらるゝことあり。

東部亞非利加

東部亞非利加を北もアテン灣より、東へ印度洋よ濱走る地方の總稱よして、域内をソマウリ、ザンジバル、モサンビクモルチエ、ガルの三部よ分つ。モサンビクハ葡萄牙の所領よ歸し、其の他を更よ多くの部落よ分ち、各其の酋長あり。土人も風俗暴戾よして抄略を好み、又遊牧を事とん。

モザンビク府も、同國の海岸よ在り、モルチエ、ガル葡國總

督の駐劄せる處なり。

南部亞非利加

南部亞非利加を南端の地方の總稱よして、ケエフコロニイ、ナタル、カブル、ホッテントチヤ等の諸部を有ん。

東南を山脈連亘し、西北ハ砂磧の地多く、水泉よ乏し、間僅よ沃地ありて、樹木茂生し、果穀を産ん。

ケエフコロニイハ本洲極南の地よして、氣候溫和、地味豐饒、穀物、葡萄、甘蔗を産し、又牧畜よ適ん。其の海角を喜望峯と云ふ。

喜望峯ハ古来有名ノ海角ニシテ東洋航海ノ針路ト爲セリ

ナタル及カッフルも、共イギリス英國の屬地トシテ、ケエフコロニイも、亦半バを英領イギリスに歸せり。ケエフタウンも、英領の首府トシテ、貿易繁盛の良港なり。

西非利加

西部亞非利加も、本洲の西部、大西洋に面せる一帯の地方の總稱なり。ギニア、リベリア、セネガンビヤの三國に區別せり。ギニアも、曲折一大灣をなせし所トシテ、其の海をギニア灣と云ふ上下の二大部に分つ。

中部亞非利加

概英蘭葡等の諸國に屬せりと雖、又往々黑人種の部落をなせしものあり。リベリアも合衆國の保護に依りて、建つる所の共和政國なり。産物も甘蔗、木綿、黄金、象牙等なり。

中部亞非利加も、本洲の内部、スウダン、イチオビヤ等の總稱トシテ、山岳重疊、境域に屏列し、内地も人跡未到トシテらざる處あり、其の西部も、大湖地方と云ふ。

域内處々、土蠻部落をなせし、皆兇暴トシテ、互に抄略を事とし、其の山林川澤も、猛獸

大亞非利加諸島

毒蟲夥一。産物に金、鐵、木綿、藍煙草等と云。
 マダカスカルを洲中第一の大島として、印
 度洋中よ在り。首府をタナナリボと云ふ國
 王の居城あり。マスカールン諸島は、マダカ
 スカルの東方に在り。其中ブルボン島を
 佛國フランスに屬し、モーリチウス島を英國の所轄
 小歸也。
 カナリイ諸島は西班牙スペインに屬し、多く白燕を
 産也。マデイラ諸島を葡萄牙ポルトガルに屬し、精良の
 葡萄酒を産也。ケエ、フウエルテ諸島も亦同

六附説

國に屬也。セントヘレナは拿破崙ナポレオン第一世の
 竄せらるる小島にして、其の名世よ著る。以
 上の諸島は皆大西洋中よ在り。
 本洲の人口は凡二億五百八十萬あり、其の
 中四分の三は黑人種に屬也。
 本洲北部を上古既よカナダカナダ、エジプトエジプト等の國
 あり、其の名風よ世よ著る。而て中部以南よ
 至りては、久しく世よ知らざりしが、葡國ポルトガル
 の船將、喜望峯を發見し、東洋の航路を開き
 てより、本洲沿岸の地方、世人の知る所と云

り又近頃英佛の諸家内地を跋渉せるを以て、稍地理の明あるを得たり。

各國の政體概君主獨裁よりして唯埃及を近時國會を開き、立憲の制を定む。其の他二三の共和政國あり。沿海を歐洲各國の殖民屬地よりして、近傍の民皆其の命を服せ。其の内地の諸部も、風俗極めて殘暴よりして、奴隸を屠るを以て禮となさるものあり。

宗教ハマダカスカル島及歐洲の殖民地ハ、耶蘇教盛よ行をき、東北部諸國ハ、回教

を奉ざる者多し。其の他の土蕃ハ、蛇鱷魚等を神として尊敬せり。

小林檉湖 畫

萬國小地理書卷之一終

善國山地理書卷之二
三
善國山地理書屋辨

明治二十年十月十二日版權免許
全 二十年十二月十日訂正再版御届
全 二十年十二月 出 版

定價金貳拾錢

東京府平民

編者 高城與五郎

朽木縣下野國河内郡
塙田村七十三番準九番地寄留

東京府平民

出版人 小林喜右衛門

日本橋區新大坂町
拾番地



